



2022年 第69回 応用物理学会春季学術講演会
16. 非晶質・微結晶分科会企画シンポジウム

結晶シリコン太陽電池技術の今後 ～カーボンニュートラル実現に向けて～

Future of crystalline silicon solar cells technology

2022年3月23日(水) 13:30～18:00(予定)

世界的な目標であるカーボンニュートラルを達成するには、太陽光発電の更なる導入が求められます。その為には、結晶シリコン太陽電池の高効率化・低コスト化等の進展が必要不可欠です。

結晶シリコン太陽電池作製における各要素技術の高度化、新規セル構造の検討、太陽電池の利活用など、様々な研究開発が各機関にて精力的に進められています。そこで、本シンポジウムでは結晶シリコン太陽電池技術の全体像を俯瞰し、今後の研究開発の方向性を議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

招待講演(敬称略)

☀️ 伊藤 憲和 (京セラ)

太陽電池パネルの経年劣化/寿命劣化/
発電量予測技術の開発

☀️ 中島 明彦 (カネカ)

TBD

☀️ 西岡 賢祐 (宮崎大学)

シリコン太陽電池の魅力的なアプリ
ケーション

☀️ 藤井克司 (理研)

エネルギー貯蔵とそのシステムから見た
シリコン太陽電池への期待

☀️ 増田 淳 (新潟大学)

ペロブスカイト/結晶シリコンタンデム
太陽電池の研究動向と最近の進展

☀️ 増田 泰造 (トヨタ自動車)

太陽電池搭載自動車の状況とトヨタの
取り組み

*題目は変更になる場合があります

本シンポジウムの趣旨に合致した内容の一般講演も募集致します。

【世話人】

立花福久 (産業技術総合研究所)

大下祥雄 (豊田工業大学)

新船幸二 (兵庫県立大学)

大平圭介 (北陸先端科学技術大学院大学)